

令和2年度 指導農業士・農業士会 研修会・総会、称号贈呈式が開催されました

令和3年2月19日、新ひだか町静内公民館で管内指導農業士・農業士会主催の研修会・総会および北海道指導農業士・農業士称号贈呈式が開催されました。

研修会は会場と札幌管区气象台・室蘭地方气象台をオンラインでつなぎ、予報官3名から日高管内の大雪被害をもたらす気圧配置の特徴と留意点、気象データの入手と活用などの内容で講演がありました。

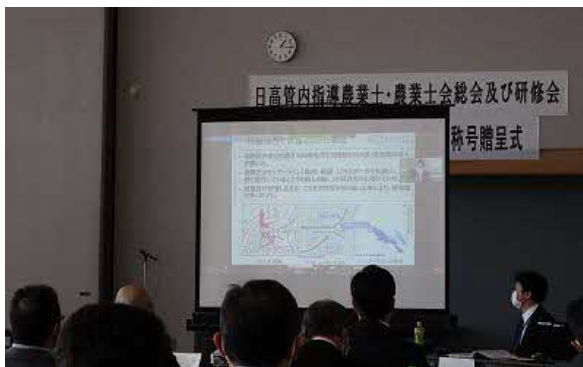
北海道指導農業士・農業士称号贈呈式は本年度、日高管内から指導農業士6名、農業士4名が新たに認定され、式典は例年、全道の新規認定者が一堂に会し挙行されますが、本年は振興局ごとの開催となりました

式典では北海道日高振興局 北村局長から称号が贈呈されました。

また、称号贈呈者を代表して北海道指導農業士 小倉 正信氏（新ひだか町）から「管内農業の発展に対する指導農業士の役割を果たすべく、活動を行いたい。」との決意が述べられました。

指導農業士・農業士会の総会では、事業報告・事業計画が審議されました。

(執筆者：主査（担い手） 脇坂 裕二)



オンライン開催した気象セミナー



代表して挨拶された小倉指導農業士(新ひだか町)



称号を受けた指導農業士・農業士と来賓の方々



称号贈呈授与 伊藤指導農業士（日高町）（右）